

◆身近に潜むコンプライアンス違反のリスク◆

さて、あなたの会社ではコンプライアンス対策を行なっていますか？

- ◆ _____ ◆
- 「知らなかった」では済まされない！コンプライアンス違反のリスク
- ◆ _____ ◆

近年、コンプライアンス違反による企業の信用失墜、売上の減少、最悪の場合は倒産にまで追い込まれるケースが後を絶ちません。帝国データバンクの調査によれば、2023年度のコンプライアンス違反による倒産件数は【350件】を超えています。これは3年連続で前年度を上回る深刻な状況なのです。コンプライアンス違反に対する社会の目は、年々厳しさを増しています。ちなみに、個人情報漏洩や粉飾決算など、メディアで大々的に報道されるような出来事ばかりがコンプライアンス違反とは限りません。

実は日常のちょっとした行動にもコンプライアンス違反のリスクは潜んでいるのです。例えば、以下のようなものがあります。

- ◆ 会社の備品を持ち帰る
- ◆ 会社のパソコンを私的に利用する
- ◆ 社内データを許可なく持ち出す

これらは一見些細な行為に思えますが、重大な法令違反となり得るのです。では、コンプライアンス違反を未然に防ぐためにはどのような対策をしたらよいでしょうか。

実際にコンプライアンス対策に取り組んでいる企業は、以下のようなことを行なっているそうです。

- 定期的な社内教育の実施
 - ・実際の事例を自社でも起こり得る内容として共有する
 - ・役職別に最適化された研修の実施
- 社内方針の策定と周知徹底
 - ・具体的でわかりやすい行動指針を定める
 - ・策定した方針を社内に掲示したり共有ネットワークに保存する
- 社内体制の構築
 - ・迅速な対応マニュアルの整備
 - ・問題が起きた場合や判断に迷った場合の相談窓口を設けるなど。

私たちのような中小企業は大企業のようなコンプライアンス部門をもたないからこそ、経営者の役割はさらに重要になります。リスク管理は一朝一夕には実現できませんが小さな一歩から始めることで、社内に定着させることが可能です。「知らなかった」では済まされない時代だからこそ、会社の未来を守るために改めて社内教育から始めてみてはいかがでしょうか。

□ ■ □ _____
編集後記
_____ □ ■ □

今回は「コンプライアンス違反」をテーマにお伝えしました。「知らなかった」が原因でコンプライアンス違反をしてしまう事態はなんとしても避けたいですね。当社も更に社内教育には注力してまいります。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

